

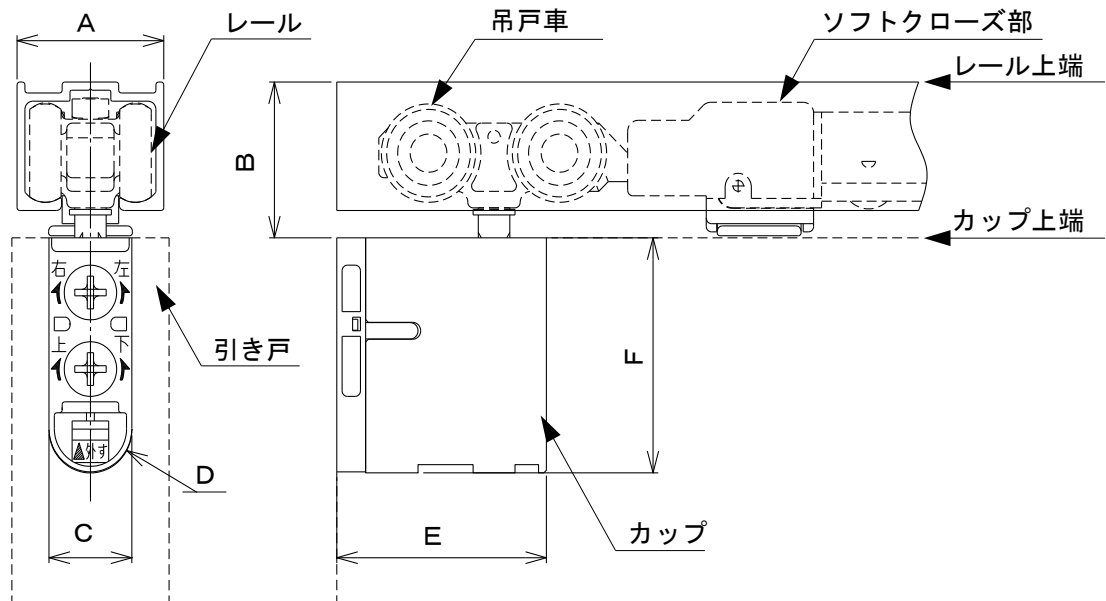
1. 対象部材

内部引き戸用吊金具(ソフトクローズ)

略称 : CJK 吊金具

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A : レール幅
- B : レール上端～カップ上端
- C : カップ幅
- D : カップ幅下端部半径
- E : カップ奥行き
- F : カップ深さ

図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位 : mm

項目	寸法
A : レール幅	28
B : レール上端～カップ上端	$28.5 \leq B \leq 33.9$
C : カップ幅	15.8
D : カップ幅下端部半径	7.9
E : カップ奥行き	40
F : カップ深さ	43

注記) レール上端～カップ上端は寸法範囲内で最低5mmの調整代をもつこととする。

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、"CJK" マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 引き戸、鴨居の加工について

- ・引き戸、鴨居の加工は吊戸車、レールが納まる寸法とする。
 - ・取り付け部の加工形状を図2に示す。
 - ・各加工寸法は表2に規定する寸法とする。
- 注記) 寸法規定外の形状については任意とする。

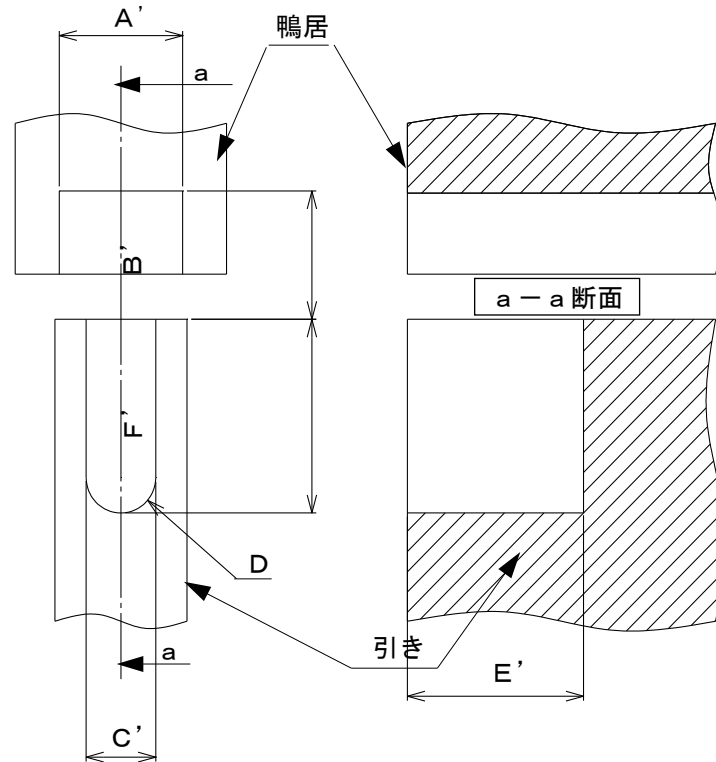


図2－引き戸、鴨居下面の加工

表2－加工外形の寸法

単位：mm

項目	寸法
A' : レール彫り込み部の幅	$28 < A' \leq 29$
B' : レール彫り込み部の上端～引き戸上端	$28.5 \leq B' \leq 33.9$
C' : カップ彫り込み部の幅	16
D' : カップ彫り込み部の幅下端部半径	8
E' : カップ彫り込み部の奥行き	40
F' : カップ彫り込み部の深さ	43

6. 解説

- ・本引き戸用吊金具(ソフトクローズ)は、扉の重量が30kg以下への使用を前提とする。
- ・カップ部は引き戸の木口加工部に、奥行き方向と深さ方向の2方向でビス固定することを前提とする。
- ・メンテナンス時はレールと吊戸車をセットで交換する。
(レールと吊戸車間の互換性は要件外とする。)
- ・壁面にレールをアウトセットして取り付ける仕様の吊金具は対象外とする。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2018年1月25日改訂

基準書作成要領改訂に伴い基準書内文言を修正。